

専門教育科目	演習科目	受講料	6,000円
科目名:	情報セキュリティ		科目コード HH12
科目主査:	榎村 麻里子	担当講師:	榎村 麻里子
		単位	2
		配当年次	1
授業の目的と概要		グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
ICTの進展に伴い、情報セキュリティや個人情報保護の考え方、仕組みや施策が大きく変化しています。サイバー犯罪者の攻撃を防ぎ、また組織内部のリテラシーを向上させることが情報セキュリティの目的です。このようなサイバー犯罪との攻防において、重要視されるのが組織としてどのように防御するかという視点です。この科目では、情報セキュリティに関する基本事項を知り、企業の情報資産を守る手法を学びます。			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングしておきましょう。		
テキスト	『よくわかる最新情報セキュリティの技術と対策』若狭 直道, 秀和システム, 最新版		
この科目の 到達目標	①情報セキュリティの目的について、図解して説明でき、情報セキュリティリスク・コントロールを実施して、情報セキュリティを味方につけることができる。 ②個人情報保護について、基本を理解して、自分たちのプライバシー、また企業や組織が管理するプライバシーを守ることができる。		
成績評価 の方法	授業への集中度合い、個人ワーク参画度合いを評価対象とします。個人ワークのテーマは、時の話題、テーマなどを織り込みますから、話題、テーマに応じて、取組時間などが変化します。 ※スクーリング全日の出席、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。		
事後学習	講座を通じて得た知識を、職場や家庭で活かす機会をなるべく多く作る工夫をして実践しましょう。 身の回りのスマートフォン、タブレット、PC、カード類などの管理を情報セキュリティや個人情報保護の観点から見直し、常に新しい情報に気を配ることをよい習慣としましょう。		
事後学習の 参考文献	「情報セキュリティ白書2024」IPA 「情報セキュリティの技術と対策がこれ1冊でしっかりわかる教科書」技術評論社		
スクーリング受講時に用意するもの			
<input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 受講票（iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます）画面 <input checked="" type="checkbox"/> 学生証			